

令和3年度

第3回「あいパル」

運営委員会報告

日時：令和4年3月22日（火）

19:00～20:30

場所：上戸田地域交流センター

「あいパル」 研修室

出席者：上戸田町会連合会 2名
本町商店会 1名
一般公募 2名
サポーターズ倶楽部会員 3名
戸田市（福祉総務課、協働推進課、生涯学習課 図書館担当） 3名

指定管理者

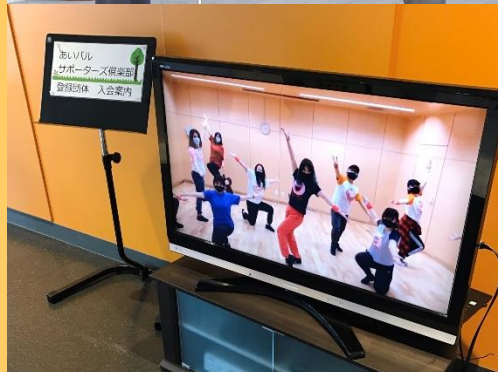
「フレンドシップ上戸田共同事業体」 3名

以上 計 14名

-開会あいさつ-

あいパルフェスタについて、この後報告がありますが、開催を非常に迷いながら実施しました。コロナ禍というのは、すべての人にとって初めてのことです。前例がないこと、正解がないことをやっていかなければなりません。難しい判断ではございましたが、2,006人の来場者を迎え、無事に終了しました。

戸田の小学校では PBL（Project Based Learning）という、自分達で考えて協議し、行動する、という授業スタイルを取っています。一方的で受け身の授業ではなく、社会で必要な力を子どもの頃から身につけようという取り組みです。まさにこれから活かせる取り組みです。あいパルの運営も、いろいろな意見を聞いて議論をしていくことが必要だと考えています。



「第5回あいパルフェスタ」「ラジオ体操優良団体等表彰式」等の開催報告

3月12日・13日はあいパルサポーターズ倶楽部団体会員のイベントである、あいパルフェスタを開催した。ラジオ体操優良団体表彰式を実施した。ラジオ体操は6名から始まり、以前は100名程度、コロナ禍の現在も60～70名程度と多くの方に参加していただいている。

サポーターズ倶楽部団体の発表会&体験会は、ホールで実施した。また、展示は例年は多目的室で行っているが、今年度に関してはワクチン接種会場となっている関係で研修室と音楽室を使用した。さらに、コロナ禍でサポーターズ倶楽部団体を紹介する機会が少ないこともあり、動画を作成して放映した。ヤーンボミングは手芸ボランティアと戸田 de あむあむの会さん、個人の方々にご協力いただいて実施した。

フラッグは事前に団体や個人に描いていただき、軽体育室内や廊下に飾った。自分が描いたものがどこにあるのか、探して楽しまれている方が多かった。計46団体分、605枚集まり、製作にはアトリエアンジェリカさんにもご協力いただいた。また、紙コップインスタレーションはあいパルフェスタに参加していただいている団体にお声かけした。アトリエでは囲碁・将棋の体験、日曜日には本のリサイクルも行った。リサイクルでは一般書74名、児童書81名の方がいらっしゃった。

戸田第一小学校 SDGs 展示・販売も行った。野菜の捨ててしまう部分を使って作ったクッキーを販売した。使いまわせるわりばし等、いろいろなアイデアを展示した。

男女共同参画啓発コーナーでは、ぬり絵・アンケートを行い、3月1日から行っていたパープルリボンタペストリーも合わせて開催した。

大々的に告知はできなかったが、ほどよく賑わいがあった。サークルからもできてよかったという声をいただき、みなさま生き生きとされていて、こうしたイベントは必要であると感じた。



本日の議題

これまでの運営委員会で防災について取り上げてきて、「あいソール防災倶楽部」を立ち上げてはどうかということになった。コーナーを作るとしたら、どんな情報コーナーがあればいいか。どんなことがあれば会員になりたくなるか。どんなイベントがあったらよいか。グループごとに話し合う。

キャッチコピーは、「あいソールは毎日が防災の日」。

まずは防災のコーナーを作って発信し、できれば市民からも情報を寄せていただき、「我が家の防災」といった形で紹介する。

「防災」は大切なことだが、常日頃から意識するのは難しい。楽しいことという視点で意見を出していただきたい。

A グループ

防災倶楽部の部員を集めるために、チラシやホームページで募集をかけるのに加え、イベントを開催すれば興味を持ってもらえるようになるのではないかな。体験型のイベントで楽しいからはじめてもらう。例えば、防災食の試食会、トイレの組み立てなど、体験して楽しいと感じてもらい、そこから深めてもらう。また、子どもにも解けるクイズや間違い探しなどを制作して、参加型のコーナーをつくれば、コーナーに置いておくだけで見てもらえて、遊び感覚で楽しく興味を持ってもらえるのでよい。

B グループ

防災倶楽部の目的・意識を高めてもらいたい、防災 DAYS に参加している方に加え、まだなじみがないかたにも参加してもらいたいの、参加しやすい柔らかいクラブ名にするといいのではないかな。例えば小学生に公募するなど。

今あまり興味を持っていない人にも参加してもらうために、他のイベントに参加された方に、こういう仕組みがありますよ、と知ってもらって登録してもらう。登録も LINE など、簡単に知識を得られるようなものにする。この間の地震のような時に互いに発信していただければ助け合いにもつながるのではないかな。

ターゲットは最初は親子に絞って敷居を低くして広めていくとよい。

C グループ

防災グッズとキャンプの両方に使えるものを紹介したり、あいパルの広場にテントを張ってキャンプのように体験できるようにすると興味を持てるのではないかな。

身近なものを使って、防災避難グッズを作るコンクールを実施してはどうか。例えば、懐中電灯を水を入れたペットボトルに近づけるとより明るくなるというような情報が集まれば、有益な情報を発信できる。

発信が一方通行にならないように、「やってみたスタンプカード」を作って、「地震の時にガスの元栓をしめた」などでスタンプ1個、など。

防災倶楽部ができたなら、実際に行動できるように、会員もあいパルの避難訓練に参加できるといい。

提案を取り組みに生かす

ご意見を元に、来年度の企画として検討して進めていきたい。

今までの運営委員会から出た意見により、防災倶楽部の案が立ち上がった。せっかくの意見を活かしていきたい。

アイデア・ご意見がありましたら引き続き寄せていただければ心強い。

ミニコミ誌の表紙について、ご報告

第1回運営委員会で話し合った来年度のミニコミ誌の表紙について、運営委員会委員より紹介いただいた市民の方の写真を使用させていただくことになった。写真の解説として、4月号はツマキチョウの紹介をしている。鳥や植物、生き物などがアップで写っている写真が多いので、来年度1年間、写真に写っている生き物の紹介もしつつ掲載していく。

再来年度以降の表紙については、いただいた意見を元にまた改めて考えていく。



あいパル運営委員会に参加された各委員の感想

最後に、1年間あいパルの運営委員会に参加いただいた委員のみなさまに、一言ずつ感想をいただいた。

- ・コロナ禍で人と繋がれない中で地域の方にお会いすることでき、情報を得られるのが心強かった。
- ・委員から出た意見を形にするという部分が一番大変だと思う。意見を言ったものを形にもらえるということでラフに意見が言いやすかった。
- ・昨年度までの運営委員会は講義形式だったが、今年はグループワークになり、もっと活発に意見を取り入れていこうと感じた。市民の方のご意見も参考になった。行政として発想が固くなってしまうこともあるので、勉強になった。
- ・意見をたくさん言わせていただき楽しい時間だった。ミニコミ誌や防災がどのようになっているのか、今後も楽しみに見ていきたい。
- ・長く参加しているが、今回はグループワーク形式でよかった。防災についても興味深く聞いた。
- ・「楽しいことを中心に」という視点が欠けていたと認識した。自由な発想が出てくる委員会だった。
- ・運営委員会に出ることで、あいパルがこういったみなさんに支えられているのだということを実感した。
- ・あいパルとの関わりがほとんどなかったが、いろんなことをやっていると知ることができた。
- ・あいパルはよく使わせていただいている。今後も関わっていきたい。
- ・戸田市の別の施設に関わっているが、いつも参考になる。刺激を受けている。
- ・今回のスタイルは話しやすかった。展開が早く話がまとまった。

-閉会あいさつ-

何人かの委員もおっしゃっていたように、これまでの運営委員会とは異なり、グループワーク形式を取り入れたことにより議論が活発になりました。みなさまとしても話をしやすい雰囲気があったのではないかと思います。

運営委員会の終了後も毎回、委員同士で盛り上がりつつ話をしている様子を見ることができ、地域「交流」センターとしてもよかったです。

今後もさまざまな意見を出せる場にしていき、運営に活かしていきたいと考えています。

あいパル運営委員会は傍聴できます
(先着3名まで)。
当日、窓口までお声がけください。